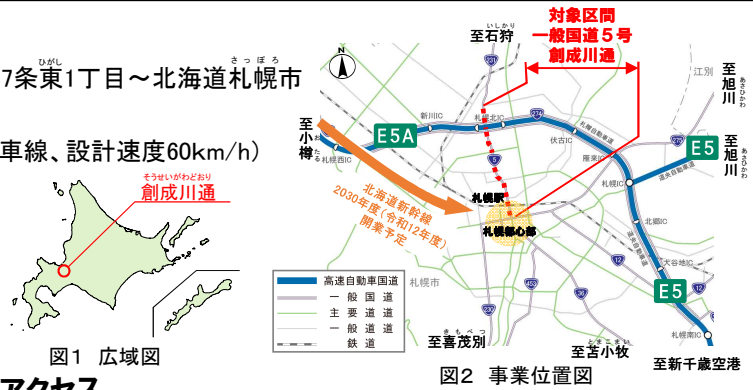


一般国道5号 創成川通に係る新規事業採択時評価

- ・北海道新幹線札幌延伸に伴う効果を全道に波及させ、都心アクセス強化による都市機能を最大化
- ・都心立地施設への物流交通の安定性向上による企業・経済活動の支援
- ・高次医療施設への速達性向上による安心できる暮らしの支援

1. 事業概要

- ・起終点：北海道札幌市東区北37条東1丁目～北海道札幌市中央区大通東1丁目
 - ・延長等：4.8km（第4種第1級、4車線、設計速度60km/h）
 - ・全体事業費：約1,200億円
 - ・計画交通量：約65,200台/日
- | 乗用車 | 小型貨物 | 普通貨物 |
|------------|-----------|-----------|
| 約47,000台/日 | 約9,800台/日 | 約8,400台/日 |



2. 課題

①札幌都心部と高速道路のアクセス

・様々な都市機能が集積する札幌都心部と高速道路を結ぶ創成川通は、主要渋滞箇所や信号連担等により速度低下と渋滞が日中でも断続的に発生。さらに所要時間のばらつきも生じ、定時性が課題。(図3、4)

・さらに札幌都心部は北海道新幹線札幌開業(R12年度予定)を見据えた、まちづくり(再開発等)を計画しており、観光需要増加が想定されることから、札幌都心部と高速道路のアクセス性向上が必要。

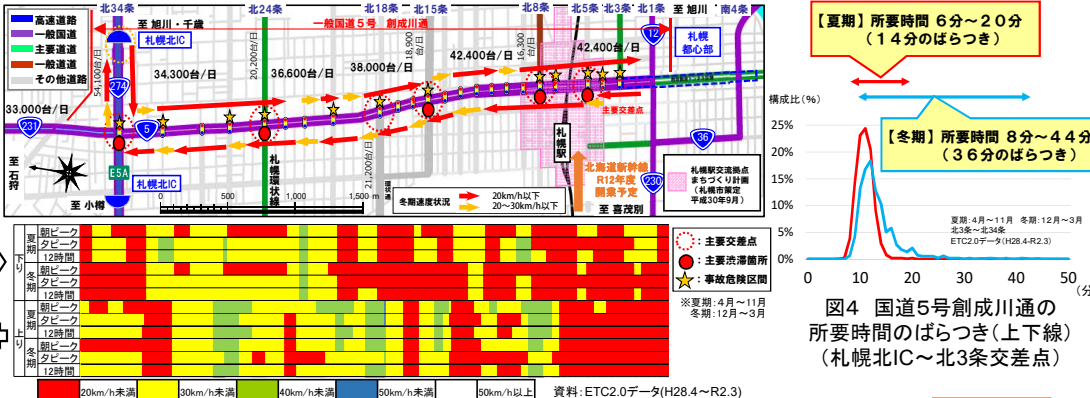


図3 現道(国道5号)の夏期・冬期平日の交通状況

②物流交通の速達性・安全性

・北海道最大の流通拠点である大谷地流通業務団地は、札幌市内の約1/4の貨物を取り扱い、都心への配送に高速道路と創成川通を利用している。(図5)

・しかし、創成川通は特に冬期に混雑が発生し、さらに死傷事故率が全道平均の約7倍であり、混雑に起因する追突事故の割合が約5割を占め、物流の速達性・安全性に課題。(図6、写真1)



図5 大谷地流通業務団地から札幌都心部への配送ルート



写真1 北19条付近の混雑

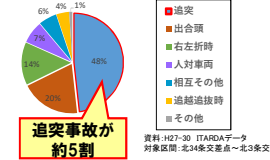
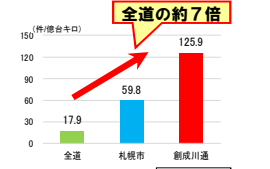


図6 国道5号創成川通の死傷事故率、事故類型

③札幌市内高次医療施設へのアクセス

・周辺自治体は、高次医療拠点のある札幌市への救急搬送割合が高く、当別町を始め、北広島市、石狩市などで札幌への救急搬送割合が約8割を占める。(図7)

・当別町や新篠津村、千歳市は札幌都心部への救急搬送に長時間を要しており、救命率向上のため、札幌都心部への速達性の確保が必要。(写真2)

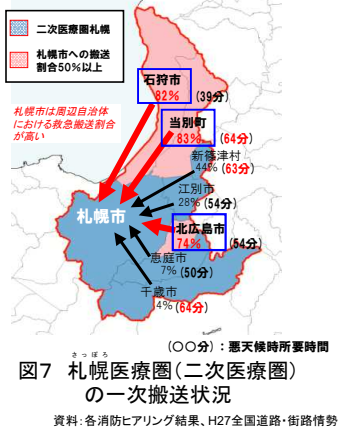


写真2 創成川通の救急搬送状況

3. 整備効果

効果1 札幌都心部と高速道路の都心アクセス強化【◎】

・札幌都心部と高速道路のアクセス強化により、都市機能を最大化

(所要時間のばらつきの改善による定時性確保と主要渋滞箇所、信号交差点の回避)

夏期：所要時間 現況6分～20分(14分のばらつき) → ※整備後 6分～11分(5分のばらつき)

冬期：所要時間 現況8分～44分(36分のばらつき) → ※整備後 8分～14分(6分のばらつき)

主要渋滞箇所：現況5箇所 → 整備後0箇所、信号交差点：現況24箇所 → 整備後0箇所

効果2 物流交通の安定性向上【◎】

・物流交通の安定性向上により、企業・経済活動を支援

当該区間の事故減少期待数(4ヶ年)

現況 323件 → 整備後 256件(67件減少)

所要時間(大谷地流通業務団地～札幌都心部)

現況 28分 → 整備後 21分(7分短縮)

効果3 高次医療施設への速達性向上【◎】

・救急搬送の速達性向上により、都心部の高次医療施設等への搬送時間が短縮し、速達性が向上。

札幌都心部にある救命救急センターから札幌医療圏の60分カバー圏人口(冬季悪天候時)

現況41.3万人 → 整備後42.5万人(約1.2万人増加)

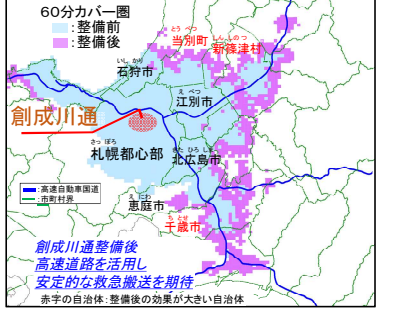


図8 札幌都心部への主な救急搬送ルートと60分カバー圏

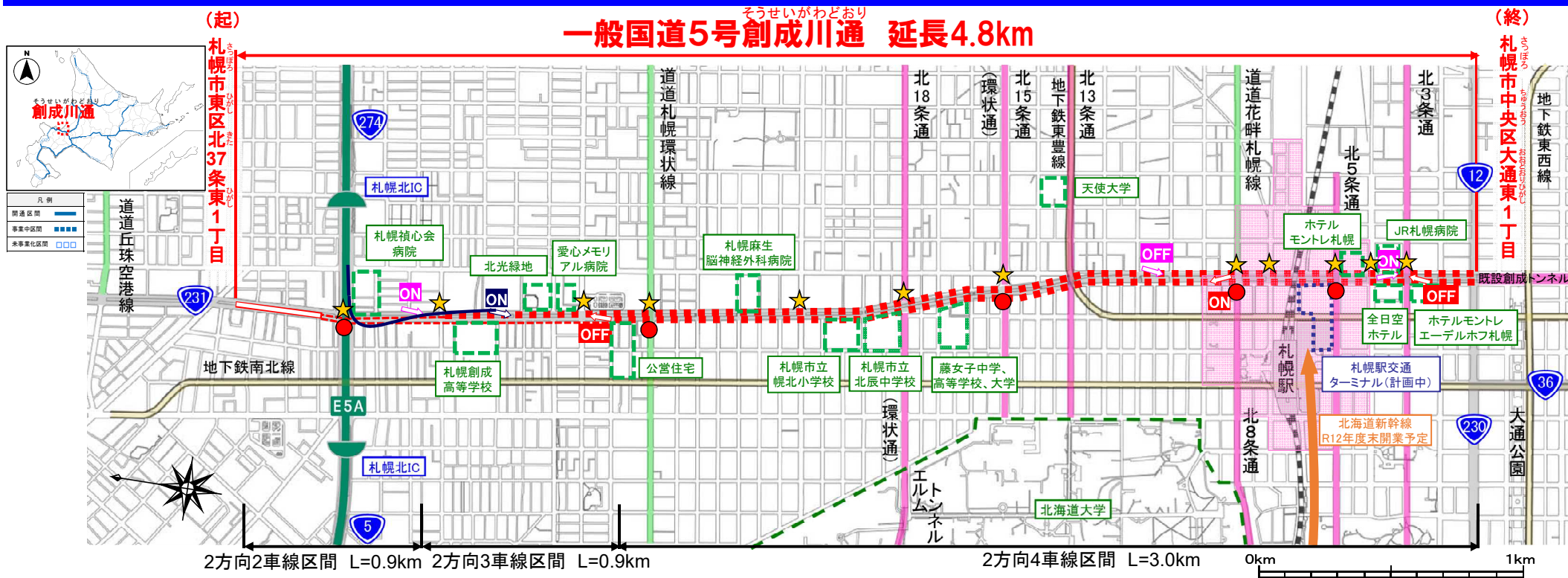
■費用便益分析結果(貨幣換算可能な効果のみを金銭化し、費用と比較したもの)

B/C	EIRR ^{*1}	総費用	総便益
1.3	5.6%	865億円 ^{*2}	1,144億円 ^{*2}

※1: EIRR: 経済的内部収益率
 ※2: 基準年(R2年)における現在価値記入(現在価値算出のための社会的割引率: 4%)

一般国道5号 創成川通に係る新規事業採択時評価

一般国道5号創成川通 延長4.8km



凡例	
<道路構造区分>	
	擁壁部 (地上⇄地下)
	函渠部 (地下)
	橋梁部 (高架)
<コントロールポイント>	
	札幌駅交流拠点計画地域
	重要施設
	高速自動車国道
	一般国道
	道道
	市道 (都市計画道路)
	地下鉄
	事故危険区間
	主要渋滞箇所

